

平成
25年度

鏡野町友好都市交流事業

十月十日（木）鏡野町から十一名の方が、スイスのイヴェルドン・レ・バン市を訪問しました。
参加者の皆さんは、ペスタロッツチゆかりの地で、市とホストファミリーの歓迎を受け、貴重な体験と交流をされました。

（順不同、原稿のまま掲載）

● 谷口強志さん

今回友好都市交流事業に参加し、スイスイヴェルドン・レ・バン市を訪問いたしました。中世十八世紀歴史ある石畳の広場にペスタロッツチ像が立ち、週末には市場が出来、音楽が流れ、みんなの憩いの場になっていました。歴史を大切にし、近代文化も取り入れゆつたりとした時間が流れている素敵な街でした。市当局の方々には大変お世話になりました。

● 片田智子さん

イヴェルドンは中世の伝統を感じられる美しい街でした。
現地の人達が二百年以上前に生きたペスタロッツチがこの地で彼の教育理念を実現したという誇りと尊敬の念を抱いているのを強く感じました。
また私を受け入れて下さったホストファミリーはとても暖かく接していただき心より感謝しています。

● 赤木 勇さん

碧い空、澄んだ空気、清らかな水、広い大地、イヴェルドン市の印象である。古き物を守り伝承しながら新しき物も取り入れて発展している街である。ペスタロッツチにより発展し、今も彼とともに歩み進化しているようである。多くの人と交流を図り、見聞を広めることができた。この学んだことを家庭や地域で活かしたい。

● 近藤晴則さん

私がこの交流事業に参加して感じたことは、純粹に行ってよかったという思いです。当初感じていたスイスという国に対するイメージも良い意味で違っていて、日本とはまた違った豊かさを感じました。歴史や風土、美しさを直接感じ、共に参加した方や現地で交流など多くの刺激を受けました。若い人こそ参加すべきと思います。

